



2024 年度/第 73 期

環境経営レポート

2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日



BRIDGESTONE

ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社

本社/群馬県高崎市問屋町西 1-5-9

TEL027-363-4366(代) FAX027-361-1840

作成日:2025 年 2 月 28 日

《ご挨拶》

当社は 1952 年の創業以来、株式会社ブリヂストンの群馬県総代理店（代理店登録番号 41 号）として、70 年以上にわたり地域に根ざしたサービスで主に乗用車・トラック・バス用タイヤの販売および自動車関連用品の販売を行っております。

現在は、ブリヂストングループが掲げる「Bridgestone E8 Commitment」を企業活動の軸とし、2050 年に向けた「サステナブルなソリューションカンパニー」の実現を目指しています。私たちはその一翼を担うグループの販売会社として地域社会とお客様に対して持続的な価値を提供し続ける責任と誇りを持ち、社員一丸となって取り組んでおります。

このたび、これまでの取り組みと成果をまとめました。ご多忙のところ恐縮ではございますが、ご高覧いただき、ご指導、ご助言を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

2025 年 2 月 28 日

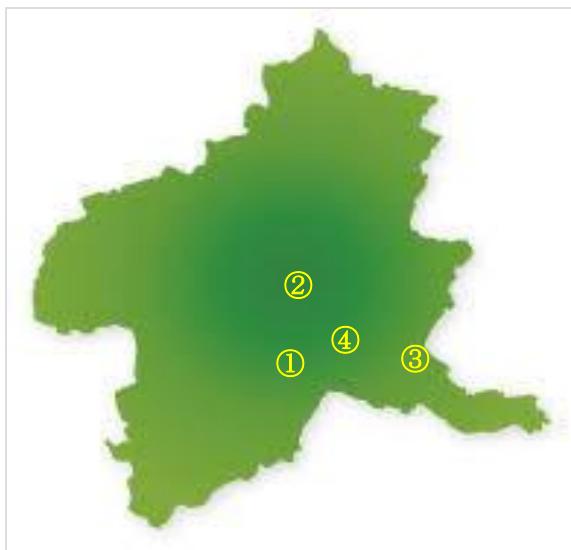
ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社
代表取締役 橋谷 晋治



1952 年 株式会社ブリヂストンの群馬県総代理店となる



Bridgestone E8 Commitment



事業活動の規模

事業所名及び代表者名

ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社

代表取締役 橋谷 晋治

本社所在地

〒370-0007

群馬県高崎市問屋町西一丁目 5 番地 9

TEL 027-363-4366 / FAX 027-361-1840

URL <https://www bst-takasaki.com>

・営業所所在地

① 問屋町営業所	高崎市問屋町西一丁目 5 番地 9	TEL	027-361-1836
② 渋川営業所	渋川市八木原 1387	TEL	0279-22-2607
③ 桐生営業所	桐生市広沢町 5-1479-1	TEL	0277-52-1421
④ 前橋営業所	前橋市六供町二丁目 31 番地 11	TEL	027-260-8686

・環境保全関係の責任者及び担当者

代表責任者	:	代表取締役	橋谷 晋治
環境管理責任者	:	総務部次長	長崎 学
EA21 事務局	:	総務部課長	佐藤 直樹

・事業の内容

ブリヂストン製の自動車用タイヤ・自動車用品・更生タイヤ及び自動車関連用品の卸売業

・事業の規模

	単位	2021 年度 (70 期)	2022 年度 (71 期)	2023 年度 (72 期)	2024 年度 (73 期)
主要商品売上高	千円	2,680,743	2,962,037	2,860,792	3,001,203
従業員数	人	41	43	43	46
延べ床面積	m ²	6,365	6,365	6,365	6,365

・対象範囲 全事業所の全事業内容

・対象期間 2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日

環境経営方針

[基本理念]

私たちブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社は、かけがえのない地球環境のたまものである資源を大切に使い、可能な限り環境へ負荷をかけない経営に心がけ、環境にやさしい当社の環境対応商品を積極的に販売することで、社会の発展に貢献してまいります。

[基本方針]

環境保全活動を推進するにあたり、事業活動、組替作業、商品配送に関わる環境への影響を考慮し、以下の項目を重点的に推進します。

1. 当社の主力事業である、自動車用タイヤの販売において環境タイヤ「エコピア」を中心としたエコ対応商品を積極的に販売し、環境負荷の低減に努めるとともに、メーカー直送率を高め輸送効率の向上に努めます。
2. 二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・ガソリン使用量の削減・廃棄物の単純焼却の削減に努めます。
3. 事業活動で発生する廃棄物は、その発生を抑制するとともにリサイクルの推進に努めます。
4. 限りある水は、使用量削減のため節水に努めます
5. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境汚染を防止する法規制を遵守するとともに、環境負荷を削減するための自主目標を設定し、その達成に向けた取り組みを行ないます。
6. 環境経営方針は、全社員に周知するとともに、各自が役割を自覚して行動出来る様、教育を行い環境に関する意識の向上に努めます。

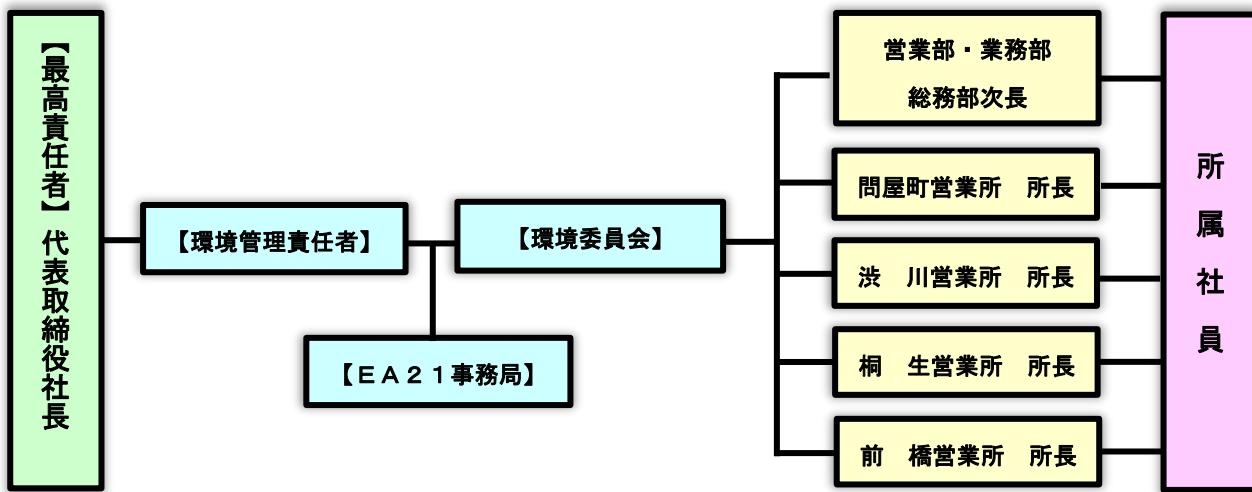
～ この環境経営方針は、社内外に公表します ～

2019年2月28日改定

ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社

代表取締役 橋谷 晋治

取組実施体制および主な役割と責務



職名	役割
最高責任者 代表取締役	環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命し、該当責任者には、現在の責務には関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 環境経営方針を制定し、EA21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源を準備する。また、構築・運用に関する情報を収集し、環境経営方針・環境経営目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じて改訂を指示する。
環境管理責任者 総務部 次長	EA21に関する経営諸資源の合理的かつ効果的な運用を図り、目標を達成するために環境委員会を運営する。最高責任者による見直しのため、構築・運用に関する情報を最高責任者に伝達する。EA21審査機関や外部関係者（行政・各種団体等）との窓口業務
EA21事務局 総務部 課長	環境責任者を補佐し、EA21に関する実務全般を所管する。 各営業所の月次データを収集し、環境管理責任者に伝達する。
環境委員会	月次環境目標の掲示・環境経営計画の進捗管理について協議をする 不適合項目や各エネルギー等の月次実績におもわしくない箇所がある時は、その原因の確認と削減の方法について話し合う。
環境委員	各エネルギー使用量等を計測し、EA21事務局に報告する。環境経営計画にある環境経営目標達成の為の取組項目の推進と社員の理解度を管理チェックする。 排出物の把握、分別リサイクルの推進、排出物置場の整理整頓。社有車の運行管理表をチェックし、燃費等を把握する。 不適合案件が発生した場合は、環境委員が中心となり改善に向けた活動を行う。
所属社員	環境経営目標達成の為の取組項目を実践して、改善活動の参加意識を持ち経費削減に協力する。

環境経営目標と実績(2024 年度)

2022 年の環境負荷実績を基準年として目標策定。

○：全体で取り組めている △：いま一歩

管理実施項目 単位	2022 年実績	2023 年実績	2024 年計画	2024 年実績	評価
	基準年度	計画比	基準年度比	計画比	
二酸化炭素排出量 Kg-CO ²	212,859	198,992	212,433	215,047	△
	–	93.6%	△0.2%	101.2%	
二酸化炭素排出量の削減 Kg/百万円	71.8	69.6	71.6	71.7	○
	–	97.0%	△0.2%	100.1%	
電力使用量 Kwh	158,746	159,407	158,428	160,430	△
	–	100.5%	△0.2%	101.3%	
ガソリン使用量 ℓ	34,393	34,942	34,324	39,132	×
	–	101.6%	△0.2%	114.0%	
軽油使用量 ℓ	16,527	16,209	16,493	18,270	×
	–	98.1%	△0.2%	110.8%	
可燃ごみ排出量 kg	1,172	1,044	1,169	1,162	○
	–	89.2%	△0.2%	99.4%	
廃プラスチック排出量 Kg	1,520	860	1,516	2,270	×
	–	56.7%	△0.2%	149.7%	
水道使用量 m ³	774	718	772	854	×
	–	92.8%	△0.2%	110.6%	
管理実施項目 単位	2022 年実績	2023 年実績	2024 年計画	2024 年実績	評価
	基準年度	計画比	基準年度比	計画比	
TLR+RTLR ECOPIA(本数)	1,377	1,050	1,379	1,525	○
	–	76.2%	+0.2%	110.6%	
BEST+BETTER 品 ECOPIA(本数)	24,318	16,611	24,366	18,430	×
	–	68.2%	+0.2%	75.6%	
メーカー直送比率 %	41.8%	41.5%	42.0%	41.6%	△
	–	99.0%	+0.2%	99.0%	

TLR+RTLR ECOPIA はトラックバス用低燃費タイヤ / BEST+BETTER 品 ECOPIA は乗用車用低燃費タイヤ

電力使用量について、事業者名：東京電力エナジーパートナー株 排出係数は:0.390(Kg-CO²/kWh)

オリックス株 排出係数は:0.585(Kg-CO²/kWh) 【2022 年(R4 年)実績を基準値とする】

※化学物質の取り扱いはありません。

今後の環境経営目標(2023 年度～2025 年度)

2022 年の環境負荷実績を基準年として次年度以降の中期目標を設定しました。

管理実施項目 単位	2022 年実績	2023 年計画	2024 年計画	2025 年計画
	基準年度	基準年度比	基準年度比	基準年度比
二酸化炭素排出量 Kg-CO ²	212,859	212,646	212,433	212,220
	－	△0.1%	△0.2%	△0.3%
二酸化炭素排出量の削減 Kg/百万円	71.8	71.7	71.6	71.5
	－	△0.1%	△0.2%	△0.3%
電力使用量 Kwh	158,746	158,587	158,428	158,269
	－	△0.1%	△0.2%	△0.3%
ガソリン使用量 ℓ	34,393	34,358	34,324	34,289
	－	△0.1%	△0.2%	△0.3%
軽油使用量 ℓ	16,527	16,510	16,493	16,447
	－	△0.1%	△0.2%	△0.3%
可燃ごみ排出量 kg	1,172	1,170	1,169	1,168
	－	△0.1%	△0.2%	△0.3%
廃プラスチック排出量 Kg	1,520	1,518	1,516	1,515
	－	△0.1%	△0.2%	△0.3%
水道使用量 m ³	774	773	772	771
	－	△0.1%	△0.2%	△0.3%
管理実施項目 単位	2022 年実績	2023 年計画	2024 年計画	2025 年計画
	計画比	基準年度比	基準年度比	基準年度比
TLR+RTLR ECOPIA(本数)	1,377	1,378	1,379	1,381
	－	+0.1%	+0.2%	+0.3%
BEST+BETTER 品 ECOPIA(本数)	24,318	24,342	24,366	24,390
	－	+0.1%	+0.2%	+0.3%
メーカー直送比率 %	41.8%	41.9%	42.0%	42.1%
	－	+0.1%	+0.2%	+0.3%

TLR+RTLR ECOPIA はトラックバス用低燃費タイヤ / BEST+BETTER 品 ECOPIA は乗用車用低燃費タイヤ

電力使用量について、事業者名：東京電力エナジーパートナー(株) 排出係数は:0.390(Kg-CO²/kWh)

オリックス(株) 排出係数は:0.585(Kg-CO²/kWh) 【2022 年(R4 年)実績を基準値とする】

※化学物質の取り扱いはありません。

2024年環境経営目標の項目別取組み実績と次年度の取組み

・二酸化炭素排出量削減の取組み結果

取組み実績:二酸化炭素の排出総量は、**計画比:101.2%、前年比:108%**

売上高百万円当りの排出量の削減については、**計画比:100.1%、前年比:103%**

売上高が好調に推移(前年比:104.9%)、その反面ガソリン・軽油などで前年・計画を上回ってしまいました。売上高百万円辺りの排出量でみると、ほぼ前年並みに推移しています。

次年度の取組み:

次年度の取組としては、電力使用量でのCO₂排出量の割合が増加傾向の為、本社を中心とした老朽化機器の入替を検討しCO₂排出量の削減を実践していきます。

・電力使用量(Kwh)

取組み実績:**計画比:101.3%、前年比:100.6%**

前橋営業所にてピットの照明をLEDに入替導入。ほぼ前年並みに推移しております。

次年度の取組み:

・各拠点内の老朽化機器の点検、入替導入。未実施個所の照明をLED化への推進。

無人時の倉庫内電気の消灯、換気扇電源OFFの徹底など、今後とも日常の業務で出来る節電を心掛け実践させて行きます。

・ガソリン・軽油使用量(L)

取組み実績:**計画比:112.9%、(ガソリン:114% 軽油:110.8%)、前年比:112.2%**

ガソリン・軽油の合計使用量57,402Lで比較、平均燃費を確認。

ガソリンは11.28km/L(前年比:103.2%)、軽油は8.1km/L(前年比:102.5%)の取組結果でした。

車両の入替もあり燃費こそ向上するも、売上高増により走行距離・給油量と増加となりました。

次年度の取組み:

・過年経過車両・過走行車両の入替の推進。

・急発進・急加速の禁止、ふんわりアクセルの実施。

・エコドライブの推進 燃費の見える化

車両毎の燃費を公開し各ドライバーに、エコドライブ運転を推進しCO₂の削減に努めます。

・可燃ごみ排出量・廃プラスチック排出量(Kg)

取組み実績:**計画比:127.8% (可燃ごみ:99.4% 廃プラスチック:149.7%)、前年比:141%**

可燃ごみは計画比7Kg減量となります、廃プラスチックは、計画比754Kg増量。

廃プラスチックは昨年、繁忙期で冬季回収依頼をだせなかつた拠点が数拠点あったためと予想されます。

次年度の取組み:

分別ルールの徹底、廃棄物置場の整備、リサイクルとリユースの区別の徹底を図り、更に意識付けをして行き廃棄物排出抑制に取り組みます。

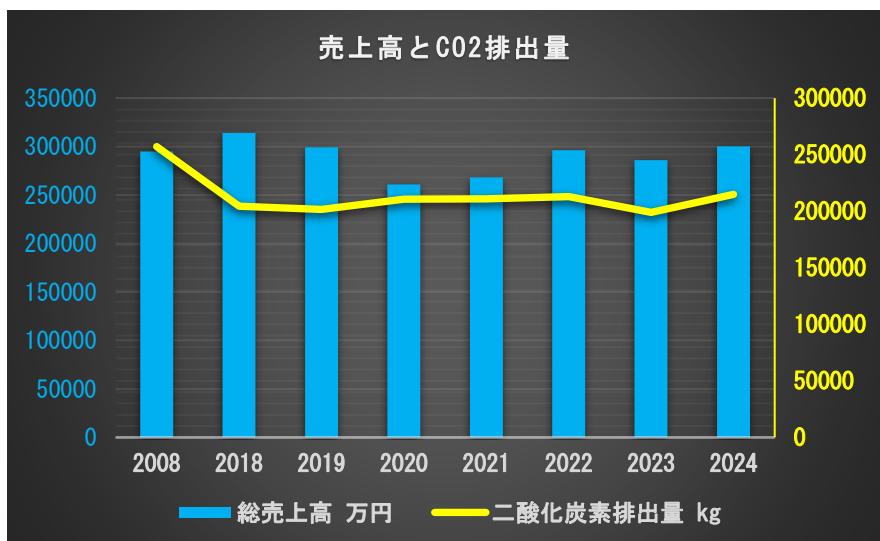
・水道使用量(m³)

取組み実績:**計画比:110.6%、前年比:118.9%**

渋川営業所にて7月に漏水発生。早急に業者に依頼し対応するが通常月の約4倍の使用量が発生してしまいました。

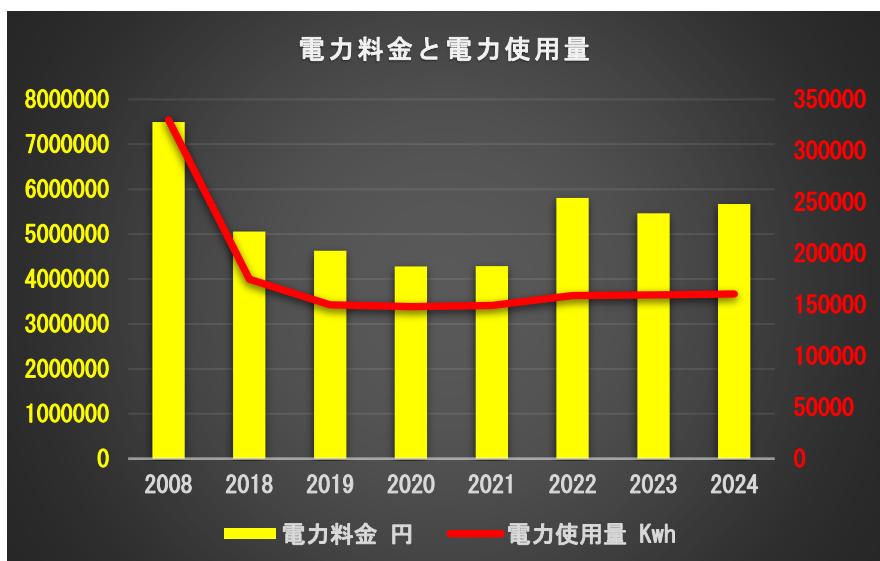
次年度の取組み:

水道メーターの月次目視チェックの実施。各拠点、節水シール作成して節水指導に努めます。



年度別売上高とCO₂排出量の推移

2024年は売上高が好調に推移した半面、ガソリン・軽油使用量や廃プラスチック排出量が大きく増加してしまいました。しかしkg/百万円のCO₂排出量でみますとほぼ計画通り
可燃ゴミ：計画比7kgの減量
廃プラスチック：計画比754kgの増量
昨年繁忙期に回収依頼をだせなかつた拠点が数ヶ所あり年明けから春にかけて大きな回収がありました。



年度別電力料金と電力使用量の推移

電気使用量に関してはほぼ前年並みに推移(前年比100.6%)
しかし電気料金でみますと
2023年 5,460,985円
2024年 5,671,402円
210,417円の増額(前年比103.8%)
更なる対策を考慮して削減への取組を早急に進めたく考えます。



年度別ガソリンと軽油使用量の推移

過年式・過走行の車両の入替もあり燃費は前年度より好転しています。
しかしガソリン・軽油と使用量に関しては前年を大きく増量してしまいました。
売上高の影響も多少あるかとは思いますが社員にはエコ運転の継続意識の徹底を心掛けるようお願いしたいと思います。

※2008年はエコアクション21登録初年度 実績固定

2024年環境経営計画達成の為の取組項目とその成り行き

環境目標	環境活動計画	評価
省エネルギー活動の推進 化石燃料の使用削減	【電力使用量の削減】	
	① エアコンは冷房 26°C、暖房 22°Cに設定する	△
	② 部屋や廊下の照明は、退出時は必ずスイッチを切る	○
	③ 倉庫の照明はまめに消灯する	○
	④ エアコンの定期清掃の実施	○
	【燃料使用量の削減】	
	① エコドライブの実践	○
	② 不要なアイドリングはしない	○
	③ 車両担当者は、定期的にタイヤの空気圧をチェックする	○
	④ 不要な荷物を載せたまま走らない	○
節水活動の推進	⑤ 冷房・暖気運転は適切に	△
	⑥ 急発進、急加速、急ハンドルはしない	△
	① 日々節水を意識し、手洗い時、まめに蛇口の開け閉めを実践	○
紙使用量および廃棄物の削減	② 蛇口は完全に閉め、止まっているか確認する	○
	③ 水道元栓の確認、漏水防止のため毎月メーター確認	○
	【コピー用紙の削減】	
	① 印刷前にPCのプレビューで印刷範囲等ミスがないか確認する	○
	② 片面未印刷の用紙は、裏紙用紙として活用する	△
	③ 裏紙コピー用紙の置き場を確認する	△
	【廃棄物の削減】	
	① 分別ルールの徹底（資源ごみと廃棄ごみを一緒のくずかごに入れない）	○
	② 廃棄物の置き場の整理・整頓	○
	③ 封筒の再利用	○
安全・防災	④ 産業廃棄物の適正な管理・マニフェストの適正管理	○
	【安全・防災】	
	① 火災発生時の役割の確認（防災組織図）	○
	② 消火栓・消火器のある場所の確認	○
	③ 事業所平面図の確認	○
社会貢献活動	④ 業者による防災設備点検時に使用方法を練習する	○
	① タイヤの日 安全啓蒙活動の推進	○
	② 事務所周辺の定期的な清掃を実践	○

事業所全体の取組状況 ○：全体で取り組めている △：いま一歩

2024 年改善取組み状況

●電力使用量の節減対策



未実施個所の照明 LED 化への切り替え

前橋営業所のピット照明を LED に切り替え
また現在蛍光灯を使用している場所をリストアップし計画的に LED に切り替えていこうと計画

●車両の燃費対策

排気ガス CO₂ 排出量を削減

過年経過車両・過走行車両の交換を実施
2024 年は 10 台の車両を交換
すべて荷台のあるバン・トラックとなります。
地球温暖化防止の有効な手段として考えています



環境にやさしいドライブと地球温暖化防止のための 10 のポイント

- (1) 環境にやさしいクルマ、タイヤの購入を心がけましょう。
- (2) 計画的にドライブをしましょう。
- (3) タイヤの空気圧をチェックをしましょう。
- (4) 不用な荷物を降ろしましょう。
- (5) 暖気運転は適切におこないましょう。
- (6) カーエアコンの設定はこまめに調節をしましょう。
- (7) ふんわりアクセルを心がけましょう。
- (8) エンジンブレーキを積極的に使いましょう。
- (9) 不要なアイドリングはやめましょう。
- (10) 環境により活動で CO₂ を削減をしましょう。

4月8日をタイヤの日として、安全啓発活動（タイヤの空気圧不足は燃費の低下に繋がる事 etc）を実施

社用車におけるエコドライブ 10 の実践

担当者の車両の燃費を計測して、燃費向上を目標に、エコドライブ運転を実践

町内清掃奉仕活動



問屋町クリーン大作戦

2024年10月16日（水）に高崎問屋町に
96社 524人が参加して、高崎卸商社街の幹線道路の清掃活動を実施。

また、毎月第2水曜日は町内一斉清掃デーで事業所周囲の草刈りや清掃活動を行っています

環境宣言

ブリヂストングループの掲げる環境宣言を事業所内に掲示して、エコアクション21活動と連動して活動しています



環境

品質

安全

環境関連法規制の遵守状況

適用される主な環境関連法規の遵守状況

環境関連法令	要求事項	関連部署	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物保管場所の旨の掲示 収集運搬・処分業者との契約 マニフェストの保管管理 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の届出	全拠点 本社 本社 本社	遵守 遵守 遵守 遵守
浄化槽法	浄化槽の保守点検 浄化槽法 11 条検査の遵守	渋川 渋川	遵守 遵守
騒音規制法	特定施設設置届出書の提出 騒音規制基準値の遵守	桐生・前橋	遵守 遵守
振動規制法	特定施設設置届出書の提出 振動規制基準値の遵守	桐生・前橋	遵守 遵守
消防法	消防用設備等設置届出 消防用設備等点検結果報告書の届出 初期消火避難模擬訓練の実施	本社 本社 全拠点	遵守 遵守 遵守
自動車リサイクル法	社用車のリサイクル費用支払い義務 車検時の預託証明書の有無確認	本社 全拠点	遵守 遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検実施	全拠点	遵守
水銀使用製品廃棄物処理法	指定業者との契約 排出方法の遵守	本社 全拠点	遵守 遵守

環境関連法規の違反、訴訟等の有無

2025 年 1 月 31 日の環境関連法規遵守状況の確認において、違反、訴訟はありません。
 また、関係機関からの指摘や指導、及び環境に関する苦情等過去 3 年間においてありませんでした。

《代表者による全体評価と見直しの結果》

2008 年よりエコアクション 21 の運用を開始し、15 年以上にわたって継続的に環境活動に取り組んでまいりました。その結果、従業員の環境問題や SDGs に関する意識は着実に向上しており、高く評価できると考えております。

2024 年度におきましては販売計画を達成し、業績面でも良好な結果を収めることができました。

一方で、ガソリン・軽油の使用量および廃プラスチックの排出量が前年と比較して大きく増加してしまった点は、重要な課題として受け止めております。

この課題を克服するため、社員一人ひとりが環境意識をさらに高め、PDCA サイクルを再確認と着実な実行を通じて、次世代の地球環境のために、意欲的かつ継続的な取組みを推進してまいります。

以上

2025 年 2 月 28 日作成

ブリヂストンタイヤ高崎販売株式会社
代表取締役 橋谷 晋治

The logo for Bridgestone, featuring a red stylized 'B' icon followed by the word 'BRIDGESTONE' in a bold, black, sans-serif font.

BRIDGESTONE